波の風

nagasaki higashi information

よき世を創る若人を育てるために

長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校

長崎市立山５丁目１３番１号

TEL 095-821-4642 / FAX 095-823-5472

URL http://www.news.ed.jp/higashirh/

長崎東通信　第３１９号　令和５年１１月２９日発行

中高

キャリアセミナー

１１月７日（火）に、キャリアセミナー（人生の達人セミナー）を開催しました。講師にモノグサ株式会社ＣＥＯの竹内孝太朗様をお招きし、「記憶のプラットフォーム構築に挑む」と題して講演をして頂きました。

竹内様は大学卒業後、２０１０年に株式会社リクルートに入社され、中古車部門の営業で大変優秀な成績を収められました。その後、学習アプリにて高校向け営業組織の立ち上げ、学習到達度測定テストの開発、オンラインコーチングサービスの開発を行ってきました。現在は、２０１６年に高校時代の同級生と共同創業された「モノグサ株式会社」のＣＥＯをなさっておられます。講演ではご自身の体験をもとに「夢を持つことのメリット・デメリット」「自身の魅力を高めることの大切さ」などを、わかりやすい例を挙げ、ユーモアを交えながら話していただきました。

講演会後は、希望生徒との座談会を開いていただき、一人ひとりの生徒の質問に終始笑顔で丁寧に答えていただきました。今まで聞いた中で最高の講演だったという感想が多くの生徒から寄せられました。

【生徒の感想より】

- 好きなことに出会うこと？を、１ナンパする、２誘われるまで待つ、３お見合いをする、と表していてとても分かりやすかった。結果的にどれを選ぶにしろ、自分を魅力的に見えるように磨くことが大事なんだなと思った。
- 夢が決まっていない自分に不安がありましたが、成功者でも目指すものは変わりゆくものだということ、思っている以上に世の中が優しいだろうことを知れて、少し自信が持てました。
- 最近は世界の問題点や国際間の問題など頭を悩ませる話題が多く、人生がつまらないものだと思えていましたが、話を聞いて、自分のしたいことを感じて突き進んでいくことが人生ではできるのだと教えていただき、わくわくしました。
- 「頭の良さは関係なく、覚えるか覚えないかが重要で、できるかできないかではなくてやる気があるかどうか」この言葉を信じて頑張ってみたいと思いました。

中３　修学旅行

中学３年生１８回生は10月24日（火）～26日（木）の２泊３日で関西方面へ修学旅行に行ってきました。

１日目は新幹線の車窓から広島球場や姫路城を眺めつつ、大阪へ到着後、奈良の東大寺を訪問し、大仏の大きさに圧倒されながら古の人々の知恵と技術に感動しました。また野生の鹿とも戯れて、楽しいひとときを過しました。夜は京都の宿舎で、京都大学に進学した先輩方から講話をしていただきました。中学・高校時代の体験談や大学生活についての話はとても興味深く、学習に対するモチベーションを高めることができました。

２日目は班別で京都市内の自主研修を行いました。タクシーの運転手さんのガイドで、京都の名所を巡りました。その後の吉本新喜劇の鑑賞では、本場のお笑いを体験できました。

３日目は平等院鳳凰堂を見学して、再び新幹線で長崎へ。

保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご理解、ご協力をいただき、楽しく充実した旅行を終えることができました。今回学んだことや感謝の気持ちを今後の生活に活かしていきたいと思います。

高１ 高２　探究フィールドワーク

11月8日（水）（一部の班は9日まで）、高校1・2年生が探究フィールドワークを実施しました。

「人にも環境にも優しい石鹸とは何か」を探究している班は、イオンモール福岡にあるentre vida福岡を訪問し、水を使わない石鹸のテスターの使用やお店の方へのインタビューを通して、環境と消費の関係や成分分析の必要性などを学ぶことができました。

「漂着ごみ」を探究している班は対馬を訪れ、漂着ごみの削減に向けた活動を行っている対馬CAPPAの方とフィールドワークを実施しました。漂着ごみが集積する地区を調査し、漂着プラスチックごみの再利用についてお話をいただき、今後の探究への決意を新たにしました。

その他にも、長崎市内を中心に様々な場所で実施しました。今後は、１月の発表会に向けて活動していきます。

中学

長崎東中学校20周年記念式典

11月9日(木)に長崎東中学校20周年式典及び記念講演会と合唱コンクールを長崎市民会館文化ホールで実施しました。合唱コンクールでは、各クラスこれまでの練習の成果を出し、いいハーモニーを奏でていました。また、記念講演会ではグラバー園名誉園長のブライアン・バークガフニ先生に「国際貿易港ナガサキの歴史はおもしろい」の演題で、ユーモアを交えながら講演をいただき、生徒は熱心に話に聞き入っていました。

20年を迎えた長崎東中学校、25年、30年とまた新しい歴史を築き上げていきたいと思います。

中高

大会等の結果

〈高校〉
◆全国高校バスケットボール選手権大会長崎予選会
・男子の部　第3位
◆長崎地区高校新人大会剣道競技
・男子団体　第３位
・女子個人
第３位　１年１組　桑原美咲
◆県高校新人大会剣道競技
・男子団体　第3位
◆県高校新人大会ライフル射撃競技
・男子総合　優勝
・女子総合　優勝
・ＡＲ男子団体　準優勝
・ＡＲ女子団体　優勝
・ＡＲ女子個人
優勝　２年７組　岩永果子
・ＢＲ男子団体　優勝
・ＢＲ女子団体　準優勝
・ＢＲ男子個人
第３位　２年５組　古賀涼世
・ＢＲ女子個人
準優勝　２年２組　大塚紗和
・ＢＰ男子個人
第３位　２年２組　後藤迦穂
・ＢＰ女子個人
準優勝　２年５組　吉田楓子
◆長崎地区高校新人大会柔道競技
・男子団体　準優勝
・男子７３kg級
第１位　２年４組　堀暁登
・男子８１kg級
第３位　２年１組　堀陽登
・男子９０kg級
第３位　１年４組　松嶋優和
・女子７０kg級
第３位　１年７組　中村志歩
◆県高校新人大会柔道競技
・男子団体　第３位
・男子個人７３kg級
第２位　２年４組　堀暁登
◆県高校総合文化祭文芸部門
・部誌部門　佳作
・俳句部門
最優秀賞　２年２組　松尾勇輝
・散文部門
最優秀賞　２年５組　田中隆也
佳作　２年２組　伊藤佑羽
・詩部門
佳作　２年３組　小原嘉音
◆県高校総合文化祭図書部門
・ビブリオバトル
準チャンプ本　２年３組　稲本朱姫
◆県高校総合文化祭将棋部門
・男子団体の部　優勝
・男子個人の部
優勝　２年３組　布江壱成
第３位　２年７組　久冨瑠唯
◆全国高校総体　種目別ポスター選考会
・アーチェリー競技の部
最優秀賞　２年３組　林田光弘
優秀賞　１年１組　繁宮佐歩
◆県高校総合文化祭美術部門
優秀賞　2年3組　林田光弘
優良賞　2年3組　小原嘉音
3年2組　濱本小春
〈中学〉
◆長崎市バドミントン夏季選手権
・女子シングルス
第３位　２年２組　中村心咲
◆長崎市バドミントン秋季選手権
女子シングルス
第３位　２年２組　中村心咲
◆長崎市体育大会バドミントン新人大会
・女子シングルス
第２位　２年２組　中村心咲
◆長崎市テニス協会テニス大会
・男子Ａ　団体戦　優勝
◆長崎市新人体育大会水泳競技
・女子共通２００m自由形
第３位　２年１組　島村香春
・２年女子１００m自由形
第３位　２年１組　島村香春
・男子共通２００m自由形
第２位　２年２組　下井手瑠河
・男子２年１００m自由形
第３位　２年２組　下井手瑠河
◆長崎地区中学生陸上競技大会
・男子１年１５００m
第２位　１年２組　大平怜旺
・女子２年８００m
第３位　２年３組　大久保美空
・女子１年８００m
第３位　１年１組　寺井鈴夏
・女子１年１５００m
第３位　１年１組　寺井鈴夏
◆県中学校新人大会陸上競技
・女子２年走幅跳
第１位　２年１組　松尾皆実
◆長崎市中総体駅伝競技大会
・男子の部　躍進賞
◆長崎市中学校体育大会剣道競技
・女子個人
優勝　２年１組　横山琴美
◆長崎県民体育大会
・ＢＲ少年女子立射６０発競技
第２位　１年３組　中田結菜
第３位　３年１組　桐木平果倫
・ＢＲ少年男子立射６０発競技
第１位　１年２組　島田悠史
第２位　１年１組　川上大翔
第３位　２年２組　山﨑優馬
・ＢＰ少年女子
第３位　１年３組　前田美琴
・ＢＰ少年男子
第２位　１年２組　三浦佑大
第３位　２年３組　山下翔
◆音の夢ピアノコンクール全国大会
第２位　１年１組　柿田龍之介
◆日本学生科学賞長崎県審査
優秀賞　３年３組　内村心花

12月
目標

人を思いやり、共感できる人になろう

主な行事 12月

1日(金)	修学旅行結団式（高２） 保護者面談週間 （中１・２　～８日）
3日(日)	修学旅行 （高２国際科　～７日）
4日(月)	共通テストプレ （高3　～６日） 修学旅行振替休日 （高２普通科）
5日(火)	修学旅行 （高２普通科　～９日） 県内企業説明会（高１） 人権集会（中学）
6日(火)	面談週間 （高３　～８日）
8日(金)	修学旅行振替休日 （高２国際科）
9日(土)	GTEC（高１）
11日(月)	三者面談 （高３　～15日）
12日(火)	英語発表会（中）
13日(水)	ＧＰＳテスト（高１・２） 歳末助け合い運動 （～１５日）
16日(土)	県一斉実力（高１・２） 共通テストプレ （高３　～１７日） GTEC（中３）
18日(月)	三者面談 （高１・２　～２６日）
22日(金)	長崎東安全の日 受納式・終業式・大掃除
25日(月)	冬季補習 （高３　～２８日） 三者面談 （高３　～２６日）
29日(金)	共通テストプレ （高３　～３０日）

校長より

新たな制服の導入について

校長　立木　貴文

例年に比べて暖かな晩秋を迎えつつも朝夕の冷え込みは次第に増し、日々生徒が通る“四季の道”の木々も赤や黄の彩りが増してきています。

既に本校ＷＥＢページに資料を掲載し、先日学校でも披露しましたが、長崎東では来春から新たな制服を導入することとしております。「立山の風」をお読みいただいている皆様にもお知らせしたく、今号の話題といたしました。

長崎東では、制服について多様性の尊重や機能面の改善、気候変動への対応などを求める声が生徒や保護者、教職員から上がってきたことを受け、昨年６月から生徒・教職員で組織する「制服検討委員会」で議論を重ねてきました。

今年度に入り、２つに絞られたデザイン案から生徒・保護者・教職員の投票によってデザインを決定しました。

新制服は、男女ともにブレザースタイルになりますが、現女子制服の“緋色の３本線”をネクタイやリボン、スラックスやスカートに加え、これまでの伝統を受け継いだものとなっています。また夏服は収縮性や速乾性に富んだポロシャツとし、基本の白色に加えて紺色も選択できるようにしました。中・高６年間の学校ですので、在校生が卒業するまでの５年間は移行期間とします。その間は現在の制服も使用できますし、ポロシャツを現在の制服の上に着用すること等も可能です。ご家庭の負担も考え、できる限り自由度の高い新制服への移行としたいと考えています。

現在の制服が決まったのは、長崎東が創立された３年目の昭和26（1950）年度と聞いていますので、73年ぶりの、そして長崎東では初めての制服改定となります。

現在の長崎東の日々の教育活動は、これまでの伝統の上に新たな挑戦を重ねていく営みの連続ととらえています。新たな制服への改定も、その文脈で考えていければと思っています。皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。